



青き楓

島高だより
令和2年6月号
(通巻第171号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

島高文武両道の基礎

校長 渡邊 孝経

塚野克己先生（島原中学出身 元長崎県教育センター所長）の書かれた本に「長崎県の教育者群像」（平成2年発行）がある。本県に関わりのある教育者について書かれたもので、はじめに登場するのが、島原中学校第5代校長であった今井清一先生である。

先生は、明治13年生まれ。剣道8段、伯耆流居合、日置流弓道の奥義皆伝。東京帝大大学院で史学を学んだ後教職に進み、鹿本中学校長、ついで島原中・佐世保中学校長、香川県高松中学校長を歴任。浦和中学校を天下の名門にしたのもその至誠と手腕による。

文と武をとともに振興することこそ人間教育の神髄であるとし、浦和中の校是を「文武不岐」とした。「文部省」というが、文と武を教育するための本省だから、当然「文武省」と称すべきだと役人に教えたという逸話も紹介されている。また、島原中学では「健全なる精神は健全なる身体に宿る、青年はすべからく大志を抱くとともに、身体を鍛えて他日の大成に備えよ」と、自ら陣頭に立って剣道を奨励した。そのため秀才連中まで剣道だけは練習するようになり、学業もまた大いに進んで文武不岐の指導方針が定着した。島原中学、その後進である島原高校は「文武両道」を校是とするが、その基礎を固めたのは今井校長である、と述べられている。

平田敬一郎（元大蔵事務次官）氏も、島原中学時代、今井校長から威風堂々たる修身の講義を受けた、とある。島原中学19回生が5年生の時のこと。県下中等学校第1回陸上競技大会が開催されるというので、陸上部の生徒たちは出場の許可を求めたが駄目。あきらめきれず同志会なるものを結成し、さらに校長に談判したが、やはり聞き入れてもらえない。やむなく学校に無断で出場。結果は三位という予想以上の戦績をあげ、県下に島中陸上部の声価を高めた。

「島中風雪記」によると、その夜は中華料理店でチャンポンで祝杯。リーダーから「みんないいか、一週間の停学を覚悟せよ」と釘をさされ帰途。「みんなが集まっては今日か明日かと、お目玉を食う日を待っていました。ところが何日たっても校長から一言の訓辞もなければ、職員室に呼び出される気配もありません。あんまり音沙汰がないのでウス気味悪く思いながらも『入賞したので大目にみてくれるんだろう』と手前勝手な解釈をくだしていました。ところが裁きは忘れた頃にやって来ました。それは剣道の練習のときです。同士会員は校長さんから一人一人稽古に呼び出され、片っ端からいやというほどメンを打たれヘトヘトになりました。このときの痛さといったら今でも忘れることが出来ません。思っただけでもツンとするほどです。稽古がすんだあと校長さんいわく『無断で勝手な行動をした奴はこうしてこらしめてやる』と。しかし校長さんもスポーツには大いに理解があったので、その後では『良くやった』と言ってくれたので一同面目をほどこしました。」島原の中学生に武士道をたたき込んだ今井氏は、在任二年半で島原を去ったが、平田氏をはじめ、その薫陶により、世で活躍した方は数知れないだろう。

今井先生が残された言葉も珠玉である。「人間はすべからく真面目たるべし。真面目ほど力強きものなし」「君らは決して速成の人間になるな。いざという時に役に立つ人物になれ。早く大学の帽子をかぶれば、もうそれで満足するような人間には決してなるな。」今の教育の場でも変わることはない教えと思われる。



運動部活動生 代表生徒の言葉

剣道（女子）	私たちは全国制覇を目指して必死に稽古に励んできました。3年生はそれぞれ次の目標を叶えられるように頑張ります。
剣道（男子）	日本一を目標に、死に物狂いで稽古をした日々は、次のステージで大いに活かされると思います。いままで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。
陸上（女子）	努力はその”努力した”という経験自体が宝であり、確実に残るものです。ですから、1、2年生の皆さん、ただ「頑張ってください」
陸上（男子）	3年間部活動でやってきたことは無駄ではないし、今まで関わってきた後輩や先輩方のおかげで、陸上を心の底から楽しむことができました。
バレー（女子）	島高バレー部としての活動は終わりましたが、この3年間で培ってきたマナー、礼儀、人間性など今後に生かし頑張っていきたいです。
バレー（男子）	高総体はありませんでしたが、悔いなく終わることができました。これからは、2年生を中心に頑張っていきたいです。
バスケ（女子）	部活動を通して学んだことを活かして頑張ります。1・2年生は、来年・再来年の高総体で悔いの残らないように頑張ってください！
バスケ（男子）	3年間の部活動を通して、学んだ様々なことや感謝を忘れることなく、どう生かしていくかを考えていきたいです。
サッカー	高総体という舞台で戦えなく悔しいですが、それ以上に仲間や指導して下さった方とサッカーを楽しむことができました。ありがとうございました。
野球	甲子園という夢が消え悔しいですが、この悔しさをバネにコロナと戦って克服した世代と胸をはって言えるよう精一杯生きていきます。
ラグビー	高総体中止はとても苦しいことでしたが、それよりも仲間とラグビーができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。
体操	今年度は非常に残念な結果になりましたが、後輩たちには今回の経験を生かして悔いの残らないよう一日一日を謳歌してほしいです。
弓道（女子）	恵まれた環境、14名の同級生・先輩・後輩、先生と約2年半の間弓道ができて良かったです。応援して下さった方々ありがとうございました。
弓道（男子）	僕たち弓道部は、時には喧嘩もしたけれどいつでも切磋琢磨してきました。高総体がなくなったことは悔しいですが、それぞれの目標に向かって努力していきます。
レスリング	僕たちは不撓不屈の精神で頑張ってきました。今まで熱く指導して下さった稲本先生、内田先生に感謝の気持ちでいっぱいです。新チームに期待しています。
ソフトテニス（女子）	キープスマイルをモットーに笑顔で支えあう仲間ができました。部活動での経験をもとに、仲間とともにこれからも成長し続けていきたいです。
ソフトテニス（男子）	叶わなかった高総体二連覇。この目標は1・2年生に託したいです。島原高校でソフトテニスをするのができて良かったです。
テニス（女子）	毎日元気で明るい雰囲気の中で部活動ができて本当に楽しかったです。新チームのみんなにも協力しあって楽しく練習に励んでほしいです。
テニス（男子）	部活動を通して学んだ仲間と協力することの大切さや、周囲の人への感謝を忘れず、何事にも一生懸命取り組もうと思います。

7月の主な行事予定

- 1日（水）2日（木）1学期末考査
- 4日（土）3年土曜講座
- 8日（水）生徒会選挙
- 11日（土）1・2年進研実力テスト
- 11日（土）・12日（日）3年進研記述模試
- 15日（水）～17日（金）学年別球技大会

- 18日（土）全学年土曜講座
- 20日（月）1学期終了式・生徒会交代式
- 23日（木）全学年夏季補習
- <夏季授業設定日>
- 21日（火）・22日（水）
- 27日（月）～31日（金）

